

セカンダリー校（中高一貫校）における生徒指導－保護者各位

小学校では学級担任が1～2年の受け持ち期間の間に生徒とその家族を良く知っていくものですが、セカンダリー校では生徒は通常週に14人もの教科担任教師と会い、また、その他の学校職員にも会うことになります。

ですから、ガイダンス教師（生徒指導教師：サポート教師と呼ぶこともある）の役割は：

生徒に関して：

- 担当の各生徒を知り、学校内や学校周辺での全般的な学校生活に注意を払います。
- 一対一の作業や「個人的及び社会的教育プログラム」を通して生徒達の個人としての発達や、学業や職業適性の向上、社会的な向上を支援します。
- 生徒が学業上の目標や個人的目標を設定するのを助けます。
- 進級時点（例、P7からS1に、S2からS3に、S4以降）には、さらに支援を提供します。
- 例えば職業など、他の事業へのアクセス窓口を提供します。
- 上記に関して他校の職員と連携を取ります。
- 生徒が直面している個人的に困難な事柄に関して、サポートへのアクセスをもっと提供したり、アクセスするのを手伝ったりします。
- 教育福祉事業部、心理精神部門、Working Together Services、未成年審問機関、社会福祉事業部門などの他機関と提携を取ります。
- 外部機関のためにレポートを提供します。

保護者に関して：

- 保護者の最初の連絡窓口です。
- 保護者との継続的な関係を築きます。
- 保護者に全般的な生活と向上についての公式、非公式な報告をします。
- 他の機関とのリンクとして機能します。

保護者として、ガイダンス教師はお子さんの教育に関するどのような事柄についてでも連絡を取る最初の窓口であると考えてください。ガイダンス教師は、あなたとあなたのお子さんに教育を最も生かすことができるようお手伝いするためにいます。どうぞお気軽にお電話でまたは懇談の時にガイダンス教師に連絡を取り、ご相談ください。

お子さんのガイダンス教師：.....

ガイダンス教師の連絡先：.....

通訳が必要でしたら、学校の事務所で依頼するか、Interpretation and Translation Service (0131) 242 8181 にお電話ください。